



秋山 信茂 「軽さ/強さ/大きさ」展

キュレーター：エマヌエーレ・リナルド・メスキニーニ

2012年12月4~20日

後援：ローマ日本文化会館、伊日財団
どうぞ、芸術図書 & 寿司

オープニング：12月4日（火）18：00

「軽さ・強さ・大きさ」展では国際具象文化と秋山信茂の作品を通じた日本文化との間に存在する関係を証明した、完全なる掛け合わせられた文化の一例と言える。この日本人芸術家の作品は現在の現代美術の研究の中に完全に組み込まれており、その国の伝統と文化とを犠牲にさせてはいない。秋山の芸術理論は国際化した現代性の研究と何世紀もの間から探し出されたその伝統との間の推察を正確な針の様に表現されている事実である。日本人芸術家は紙を使用し彫刻を主な基準として、強さと大きさの様に、また同時に紙の特徴である軽さも要素として加えながら、それらを介して変化させている。伝統的な和紙を通し、秋山は周囲の空間を分析し対立する軽量の彫刻に根ざした特定の場所のためのインスタレーションも手掛けている。環境全体は、その結果、層を成す文化の寓意、そして再記述や再解釈できる軽さの感覚中に存在するそうした紙の彫刻を研究している。

秋山信茂（1961年横浜生まれ）1985年東京造形大学彫刻科卒業、イタリアに渡りローマ国立美術アカデミー彫刻科に学ぶ。1997年よりイタリア、日本、インドなどで展覧会活動を始め著名なグループ展などにも参加する。2000年には日本で「常滑シンポジウム」、ボローニャの美術アカデミーでは「紙と現代美術—紙のエネルギー」展に参加。ローマでは芸術家教会で「3千年紀の聖書を描く」展、同じく「ヴェニーテ・アドレムス」展そして国立民族伝統博物館での「3千年紀の紙の世界」展（2001）に参加。最近ではローマのアゴラ劇場にて現代劇「葵」の和紙による舞台装飾を担当、和紙のカーペット、ランプ、茶道の道具などを作っている。

Nobushige Akiyama. Leggerezza/ Resistenza/ Dimensione
a cura di *Emanuele Rinaldo Meschini*

4 - 20 dicembre 2012 (dal martedì al sabato ore 16 - 19)

Centro di Documentazione della Ricerca Artistica Contemporanea Luigi Di Sarro
via Paolo Emilio 28 - 00192 Roma

Tel. 06 3243513

info@centroluigidisarro.it - www.centroluigidisarro.it

dooro
ど う ぞ
art books & sushi

JAPAN FOUNDATION
ISTITUTO
GIAPPONESE
DI CULTURA
日本文化会館



